



# 学校だより

平成31年4月26日

佐渡市立七浦小学校

学校だより No. 2

## 合い言葉は「チームワーク」

校長 山口 明美

新学期がスタートしてから1か月が過ぎました。校舎中には毎日子どもたちの明るく元気な声が響いています。子どもたちにとって「通いがいのある学校」であるためには、私たち教職員もさらに学ぶ姿勢を持ち続けなければなりません。その一つが、地域の人・もの・ことを学ぶことです。学校の廊下には、坂下 幸孝 様、清水 伸 様の絵画（岩崎 維新様寄贈）、体育館には大地 財治 様の絵画、本間 一郎 様の校歌の額、そして校長室には、大地 仁太郎 様、笹井 敏雄 様から寄贈された版画、大地 財治 様の絵画、教育長 大寺 勝 様から寄贈された書が飾られています。地域では名のある皆様であると思います。また、校歌の歌詞にも歌われ、学校文集の題にもなっている「くいな」や、七浦甚句についても機会を伺い、きちんと調べていきたいと思ひます。

4月19日（金）には、1年生を迎える会、授業参観、PTA総会、学級懇談会がありました。また、PTA主催の親睦会も行われ、この日1日で保護者の皆様との距離がぐっと近づいたように思ひます。また、学校では、毎月定期的に全教職員で全校の子どもについて、共通理解を図る会を設けています。同じ目線で、同じ方向性で子どもたちと向き合える「チーム学校」でありたいと思ひます。さらには、それぞれが情報を共有し合い、コミュニケーションを取り合いながら「チームワークのよい学校」を目指します。この「チーム」の構成員に、七浦小学校は教職員だけではなく保護者、地域の皆様にも加わっていただき、子どもたちの幸せのためにご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、このチームワークを石垣に例えてみますと、石垣の一つ一つの石の形は違ひます。形が違ひからこそ、これをうまく組み合わせると頑丈で高い石垣ができます。しかし、同じ形のブロックのように扱って積み重ねると、すき間だらけの不安定で弱い壁にしかなりません。石垣を積み上げるように、子どもたちも教職員も、一人一人の個性や特徴を生かしながらより強い「チームワーク」を創りあげていけたらと思ひます。